



銭函の魅力 本気で伝授

小樽商大で地域活性化の科目を履修する1年生4人が9日、小樽市の銭函小(272人)の体育館で銭函の魅力を学ぶ教室を開いた。

この科目は「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ)」で、学生は半年間、6チームに分かれ、各テーマに沿って活動する。今回は銭函活性化チームに所属する椴沢友貴乃

銭函の魅力を銭函小の児童に伝える小樽商大の学生

樽商大生が小学校で「教室」

さん(18)、遠藤七菜さん(19)、今井香依さん(19)、飯間由美菜さん(19)の4人が銭函地域の魅力を再発見してもらおうと企画した。

1～6年生の23人に銭函の名前の由来や、銭函に工場が多い理由などについてクイズを出すと、児童は手を上げて元気よく答えた。さらに、児童は未来の銭函を想像して絵を描いた。小学3年生の諸橋もこさんは「住んでいても知らないことがありました」と話していた。(有田麻子)